

7 ピックでしか弾けないフレーズ

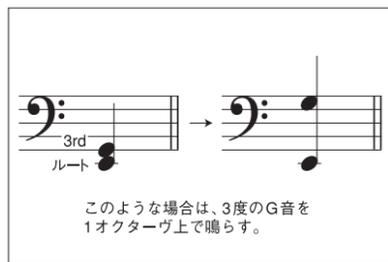
ピックならではのメリットを知ろう!

ここでは“ピックでしか弾けないフレーズ”というものを検証したい。筆者が思いつくりだとして“スピードが速すぎて指弾きでは追いつけない”“ギターとユニゾンするときに、指弾きではニュアンスが合わせられない”“曲中で自在に手刀ミュートを入れたい”“コードを弾きたい”などの場合が挙げられると思う。まあ実際には、がんばれば指でも弾けるだろうが、ピックでしか弾けないニュアンスというものがあることは間違いない。

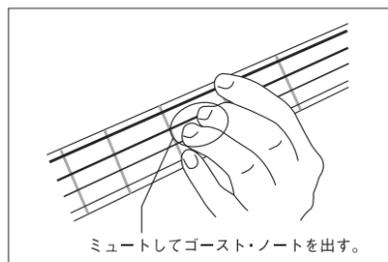
【TRACK 95】の課題フレーズの最初8小節はギターとのユニゾンのつもりで弾いてほしいのだが、1小節目最初の16分連打は2フィンガーだとキツイし、弾けたとしても強弱のバラつきが出てしまう可能性がある。また8分の部分も、ギターがダウン・ピッキングのみで弾いている場合は、指やオルタネイトだとニュアンスが合わないことが多い。とはいえ、どんな場合でもギターと一緒に弾けばOKというわけではなく、あえてベースだけを

オルタネイトで弾いたりするほうがしっくりする場合もある。さらにはきっちりユニゾンせずに、ベースを少し大きな符割にしたほうがカッコイイ場合（今回の譜例なら、16分の部分をベースだけ8分で弾くなど）もあるので、あまりこだわり過ぎず選択肢のひとつとして覚えておくとよいだろう。

そして最後の4小節はコード弾き。これは音程がはっきりしやすいピック弾きに有利な奏法だが、なるべく低音同士でハモらないようにするのがコツだ。例えば9小節目アタマでも、ルートのE（4弦開放）に対する3度を1オクターヴ上げて弾いているが、これは同一オクターヴ内で低音同士をハモらせたときに音が濁って聴こえてしまうのを避けるため【図1】。また、右手の動きはまさにピック弾きならではのギター的な奏法で、11小節などでは2弦と3弦のミュート音を出すことで、よりギターに近いニュアンスを出すことができるのだ【図2】。



【図1】 ベースで和音を弾くときには、重ねる音を1オクターヴ上げることによって響きがクリアになる。



【図2】 ミュートによるゴースト音を加えることで、よりギターのコード弾きに近いニュアンスを得られる。

課題フレーズ

ピックのメリットを体感できるフレーズ!

【TRACK 95】

指弾きにもスラップにも出せない音がある!

CD TRACK 96-98 ピック弾きなら、こんなフレーズも自由自在!

EX-1 ニュアンスを合わせた雰囲気のあるユニゾン・プレイ

【TRACK 96】

ギターとベースのユニゾン・フレーズ。基本的には全部ダウン・ピッキングでソリッドなノリを出したほうが良いと思うのだが、ここはギタリストにもつき合ってもらい、“ふたりともダウン

で弾く”“ベースだけオルタネイトで弾く”“ふたりともオルタネイトで弾く”といった組み合わせを試してほしい。できれば“ベースを2フィンガーで弾く”“ベースだけはEのルート弾きに

してみる”といったパターンにも挑戦してみよう。こういったニュアンスの違いを自分のなかにインプットしておく、ギタリストとのコンビネーションに困ったときに役立つはずだ。

EX-2 ピック弾きなら、手刀ミュートも思いのまま!

【TRACK 97】

残念ながら課題フレーズに入れられなかった“手刀によるミュート”を取り入れたフレーズ。指弾きでもスポンジを挟んだりすればミュートはできるのだが、曲のなかで場面ごとにミュ

トするような細かいフレーズには向かない。ところがピック弾きならば、基本的にピックの動きは制限されないで、こういった細かい音符も混ぜることができるのだ。このフレーズでは、

2拍目の8分音符だけミュートを解除して、独特なレゲエ風のノリを作ってみよう。このように細かくミュートしたり、それを解除したりできるのも、ピック弾きの特権である。

EX-3 ギター顔負けの豪快なコード・ストローク

【TRACK 98】

「こちららピック弾き」の最後を飾るフレーズは、ギターのようにサイケデリックなコード弾きしてみた。例えばギタリストがこのようなフレーズを弾いている曲で、ギター・ソロになったときにバックアップがなくなってしまう、“さあ困った。ならばベースで似たようなことをやっ

て切り抜けてしまえ!”といった状況をイメージして作ってみたのだが、いかがだろうか? ピック弾き特有のアタックなどが合わさった、独特な雰囲気を持っていると思う。ここで気をつけてほしいのは、関係ない弦が鳴ってしまわないようにミュートをきちんとする

ことくらいで、それ以外は多少ラフに弾いたほうが、サイケデリックなグダグダ感が出るので良いと思う。ベーシストのためのピック弾き講座の最後だが(笑)、ギタリストになったつもりで楽しんで弾いてみよう!! それでは、よりよいピック弾きライフを送れるようがんばって!